

「みえ^へ歯ートネット」運営協議会会則

第1条 目的

本会は、障がい児（者）歯科保健医療の充実を通して、三重県における障がい児（者）の健康づくりに寄与し、関連する活動や研修を行い、障がい児（者）のQOLの向上を図ることを目的とする。

第2条 組織

本会を構成する組織は、三重県医療保健部、三重県歯科医師会、障がい児（者）支援団体、その他本会事業の推進に必要と認められる団体とする。

第3条 役員

本会に次の役員を置く

会長 1名

副会長 2名

- 1) 会長は、三重県歯科医師会会長をもって充てる。
副会長は三重県医療保健部、障がい児（者）支援団体の代表をもって充てる。
- 2) 役員任期は1年とする。但し、再任を妨げない。
- 3) 会長は本会の会務を統括し、本会を代表する。
- 4) 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。

第4条 事業

本会は、第1条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行なう。

- 1) 「みえ歯ートネット」の運営に関する事項を決定する。
- 2) 障がい児（者）歯科保健医療の充実のため、必要な事業方針を決定する。
- 3) 事業推進のため研修会を開催する。

第5条 会議

本会は、前条の事業の企画、ならびに会務報告を行なう。また、会議は会長が召集する。

第6条 事務局

本会の事務局は、三重県歯科医師会事務局に置き、事務責任者は、三重県歯科医師会の理事をもって充てる。

第7条 補則

本会運営に関する必要事項は会長が別に定めるものとする。

第8条 アドバイザー

本会の事業推進に関して、必要に応じてアドバイザーを招集できる。

附 則

1. この会則は、平成22年2月11日より施行する。
2. 第2条、第3条の一部改正は、平成30年4月1日より施行する。

みえ歯一トネット協力歯科医院数

| 郡市歯科医師会 | 令和2年度末 | 令和元年度末 | 平成30年度末 |
|---------|--------|--------|---------|
| 桑 員 | 11件 | 13件 | 13件 |
| 四日市 | 20件 | 21件 | 22件 |
| 鈴 鹿 | 7件 | 8件 | 8件 |
| 亀 山 | 1件 | 1件 | 1件 |
| 津 | 19件 | 19件 | 18件 |
| 松阪地区 | 11件 | 12件 | 12件 |
| 伊勢地区 | 13件 | 13件 | 17件 |
| 鳥羽志摩 | 4件 | 5件 | 5件 |
| 尾 鷲 | 2件 | 2件 | 2件 |
| 南 紀 | 6件 | 6件 | 5件 |
| 伊 賀 | 10件 | 10件 | 10件 |
| 計 | 104件 | 110件 | 113件 |

みえ歯一トネット「皆様の声」

| 年度 | 受付日 | メール・TEL | 種別 | 内容 |
|-------------------|-------|---------|----|---|
| 平成23年度 【0件】 | | | | |
| 平成24年度 【2件】 | 7月31日 | 電話 | 苦情 | 歯一トネットで紹介された歯科医院でむし歯治療をした。何度も詰め物がとれ、何度も通院した。歯科医師から、そっちがよく動くから治せないのだと言われた。対応が悪いので、名簿から外して欲しい。 |
| | 8月 | — | 相談 | 特別支援学校の保健担当者会で話をしたとき、養護教諭から相談を受けた。 昨年、特別支援学校の歯科健診で開口器の使用により歯が破折した問題があった。今年の健診では同学校歯科医は、開口器は使わなくなったものの、健診時の対応が荒いので、学校歯科医を変えることはできないか。同学校歯科医は歯一トネットの名簿にも載っているが、障がい者に対する対応が分かっていないのではないか。学校歯科医を変えることができないのであれば、しっかり指導していただけたらありがたい。 |
| 平成25～27年度 【0件】 | | | | |
| 平成28年度 【1件】 | 3月 | 電話 | 苦情 | (尾鷲在住・保護者) 障害者に対応できるという事で、X歯科医院で障害者の子供に対する治療に通院しているが、子どもが治療の時に先生の手を噛んでしまう。それに対して、先生が保護者に対して「謝る事はないのか？謝罪はないのか？」と言ってくる。障害者に対応できるというので、行っているのに、謝罪を求めるのか。子供は中学1年でしゃべる事もできない。謝罪しないと治療は受けることはできないのか？ 回答：三重県歯科医師会の方から患者様からご意見があった事を伝えた。近くの別の歯科医院を案内した。 |
| 平成29年度 【0件】 | | | | |
| 平成30年度 【0件】 | | | | |
| 令和元年度 | 10月 | - | 相談 | (歯一トネットにおける歯科保健指導事業担当者) 歯一トネット協力歯科医院名簿に載っている歯科医院に受診をお願いしても診てもらえないことが多い。確実に診てもらえる歯科医院を載せて欲しい、と施設からの希望があった。 |

三齒発第 741 号
令和 3(2021)年 1 月 8 日

協力歯科医院各位

公益社団法人 三重県歯科医師会
会長 大杉和司

「みえ歯ートネット」協力歯科医院名簿の更新について

平素より、地域における障がい児（者）歯科保健医療にご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、「みえ歯ートネット」協力歯科医院名簿を更新するにあたり、継続登録の意思および登録内容の確認をさせていただきます。なお協力歯科医院は、患者様から診察依頼があった場合は相談をはじめ可能な範囲の歯科治療を行っていただき、状況によっては「障がい者歯科センター」をご紹介いただくなど、誠意をもってご対応いただきますようお願いいたします。

また、三重県歯科医師会ホームページでは、みえ歯ートネット研修会受講記録およびその他の障がい児（者）に関する学会・研修会への参加記録を掲載しております。

つきましては、**別紙1**について下記「現在の登録内容」をご確認いただき、**別紙2**について**2020年1月1日から2020年12月31日までの期間の該当学会・研修会への参加の有無**についてご記入の上、**1月29日(金)までに**本会あてFAXにてご提出いただきますようお願いいたします。**(別紙1別紙2ともに全員ご提出をお願いいたします。)**

末筆ながら、障がい児（者）のニーズに対応した歯科保健医療サービスの提供を充実させるためには、障害者歯科センターと歯科医院、関係諸機関のさらなる連携と協力が必要でありますので、事業主旨をご理解のうえ、今後とも当事業へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

提出書類

- 「みえ歯ートネット」協力歯科医院登録内容変更・取消用紙 **別紙1**
- 障がい児（者）に関する学会・研修会への参加状況報告用紙 **別紙2**
・・・全員提出 提出締切1月29日（金）

現在の登録内容（2021年1月時点）

※登録内容

みえ歯一トネット活用状況

| ＜障害者歯科センター⇒他院＞ | | | | |
|----------------|-------|------|-----|--------|
| 紹介年月日 | 紹介先地域 | 紹介内容 | 障害名 | 紹介時の年齢 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

| ＜他院⇒障害者歯科センター＞ | | | | |
|----------------|-------|------|--------|--------|
| 紹介年月日 | 紹介元地域 | 紹介内容 | 障害名 | 紹介時の年齢 |
| R2.4.23 | 名張市 | 治療 | 自閉症 | 9 |
| R2.6.11 | 鈴鹿市 | 治療 | なし | 5 |
| R2.7.30 | 津市 | 治療 | 自閉症 | 5 |
| R2.8.12 | 津市 | 治療 | 自閉症 | 12 |
| R2.8.12 | 津市 | 治療 | ダウン症 | 9 |
| R2.8.12 | 津市 | 治療 | 統合失調症 | 50 |
| R2.8.27 | 津市 | 治療 | ソラス症候群 | 2 |
| R2.11.12 | 名張市 | 治療 | 自閉症 | 8 |
| R2.12.3 | 名張市 | 治療 | 発達障害 | 8 |
| R2.12.10 | 名張市 | 治療 | なし | 5 |
| R2.12.17 | 沖縄県 | 治療 | 脳性麻痺 | 7 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

みえ歯一トネット活用状況

| ＜障害者歯科センター⇒病院歯科＞ | | | | |
|------------------|-------|------------------|------------|--------|
| 紹介年月日 | 紹介先地域 | 紹介内容 | 障害名 | 紹介時の年齢 |
| H22.4.4 | 三重大 | 智歯抜歯 | 頸椎損傷 | 43・男 |
| H22.4.8 | 三重大 | 全身麻酔下での根管治療とう蝕処置 | 知的障害 | 19・男 |
| H22.4.28 | 三重大 | 全身麻酔下での根管治療とう蝕処置 | 交通事故後の脳障害 | 36・男 |
| H22.6.10 | 三重大 | 全身麻酔下 根治・う蝕処置・抜歯 | 自閉症 | 21・男 |
| H22.9.5 | 三重大 | 口蓋隆起疑い精査 | 知的障害 | 18・女 |
| H22.11.17 | 三重大 | 全身麻酔下での歯肉切除術 | てんかん・知的障害 | 12・男 |
| H23.5.26 | 三重大 | 全身麻酔下での智歯抜歯 | 自閉症・てんかん | 19・男 |
| H24.4.18 | 三重大 | 全身麻酔下でのう蝕治療 | 自閉症 | 13・男 |
| H24.7.11 | 三重大 | 全身麻酔下での智歯抜歯 | 自閉症・重度精神遅滞 | 20・男 |
| H24.12.12 | 三重大 | 全身麻酔下での智歯抜歯 | 自閉症 | 17・男 |
| H25.1.10 | 三重大 | 全身麻酔下での智歯抜歯 | 知的障害・てんかん | 27・女 |
| H25.2.20 | 三重大 | 全身麻酔下での6番抜歯 | 知的障害 | 16・男 |
| H25.6.12 | 三重大 | 根管治療 | 自閉症 | 14・男 |
| H26.1.9 | 三重大 | 治療 | 自閉症 | 15・男 |
| H26.3.5 | 三重大 | 治療 | 自閉症 | 15・男 |
| H26.3.12 | 三重大 | 治療 | 知的障害 | 39・男 |
| H27.7.16 | 三重大 | 治療 | 知的障害・多動 | 27・男 |
| H28.1.27 | 三重大 | 治療 | 自閉症・聴覚障害 | 17・男 |
| H28.9.28 | 三重大 | 治療 | 自閉症 | 24・男 |
| 29.11.12 | 三重大 | 智歯抜歯 | 知的障害 | 26・男 |

| ＜障害者歯科センター⇒病院歯科＞ | | | | |
|------------------|---------|------|------------|--------|
| 紹介年月日 | 紹介先地域 | 紹介内容 | 障害名 | 紹介時の年齢 |
| H30.6.7 | 三重大 | 治療 | 自閉症 | 22・男 |
| H30.6.14 | 三重大 | 治療 | てんかん | 23・女 |
| H30.9.6 | 三重大 | 治療 | 自閉症 | 29・男 |
| H30.10.4 | 三重大 | 治療 | 自閉症 | 25・男 |
| H30.11.15 | 三重大 | 治療 | 自閉症 | 18・男 |
| H30.12.2 | 三重大 | 治療 | 知的障害 | 18・男 |
| H31.2.13 | 愛知学院大学 | 治療 | 自閉症 | 男 |
| R1.6.2 | 伊勢赤十字病院 | 治療 | 成長ホルモン分泌不全 | 男 |
| R1.9.1 | 三重大 | 治療 | 自閉症 | 男 |
| R1.11.28 | 三重大 | 治療 | 自閉症 | 男 |
| R1.12.11 | 三重大 | 治療 | 自閉症 | 男 |
| R2.1.9 | 三重大 | 治療 | 自閉症 | 男 |
| R2.1.9 | 三重大 | 治療 | 知的障害 | 男 |
| R2.10.8 | 愛知学院大学 | 治療 | 脳性麻痺 | 男 |
| R3.3.17 | 三重大 | 治療 | 自閉症 | 男 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

みえ歯ートネット事業における歯科保健指導

※令和3年度における事業の実施は新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえ、
本年度の実施を中止することを決定いたしました。

実績報告

<平成21年度>

県立草の実リハビリテーションセンター、療育センターどれみ、通園めだか、名張育成園児童寮

<平成22年度>

鈴鹿市療育センター、三重県いなば園くすのき寮、県立草の実リハビリテーションセンター、通園めだか、療育センターどれみ、県立特別支援学校 伊賀つばさ学園

<平成23年度>

県立特別支援学校 北勢きらら学園、県立杉の子特別支援学校 石薬師分校、児童ディサービスこよし会、鈴鹿市療育センター、県立草の実リハビリテーションセンター、三重大学教育学部 附属特別支援学校、県立盲学校、県立聾学校、城山れんげの里、稲葉特別支援学校、三重済美学院、特別支援学校 東紀州くろしお学園、通園めだか、名張育成園 成美、名張育成園 成峯、ふっくりあ、上野ひまわり作業所、ひいはいぶ

<平成24年度>

県立草の実リハビリテーションセンター、三重県いなば園 くすのき寮プリズム、三重済美学院、通園めだか、県立杉の子特別支援学校、県立杉の子特別支援学校 石薬師分校、県立聾学校、県立稲葉特別支援学校、県立特別支援学校 東紀州くろしお学園、特別支援学校 聖母の家学園

<平成25年度>

通園めだか、鈴鹿市療育センター、三重済美学院、三重県立小児心療センター あすなろ学園、三重県立草の実リハビリテーションセンター、三重県いなば園多機能事業所 プリズム、藍ちゃんの家ふぁみりーくらぶ みのり、県立杉の子特別支援学校 石薬師分校、県立杉の子特別支援学校、県立特別支援学校 西日野にじ学園、東紀州くろしお学園 おわせ分校、県立盲学校、特別支援学校 聖母の家学園、県立稲葉特別支援学校

<平成26年度>

通園めだか、鈴鹿市療育センター、県立草の実リハビリテーションセンター、藍ちゃんの家ふぁみりーくらぶ みのり、県立杉の子特別支援学校 石薬師分校、県立杉の子特別支援学校、県立聾学校、県立度会特別支援学校、県立盲学校、県立稲葉特別支援学校

<平成27年度>

通園めだか、社会福祉法人あいプロジェクト、鈴鹿市療育センター、三重県立草の実リハビリテーションセンター、藍ちゃんの家ふぁみりーくらぶみのり、津市児童発達支援センターつうぼっぼ、三重県いなば園多機能事業所プリズム、三重県立杉の子特別支援学校石薬師分校、三重県立特別支援学校北勢きらら学園、三重県立杉の子特別支援学校、三重県立聾学校、三重県立特別支援学校東紀州くろしお学園、三重県立稲葉特別支援学校

<平成28年度>

通園めだか、社会福祉法人あいプロジェクト、鈴鹿市療育センター、三重県立草の実リハビリテーションセンター、津市児童発達支援センターつうぼっぼ、放課後等デイサービスこごみのひろば、伊勢市重度身体障害者デイサービスくじら、三重県立杉の子特別支援学校石薬師分校、三重県立特別支援学校北勢きらら学園、三重県立杉の子特別支援学校、三重県立聾学校、三重県立特別支援学校東紀州くろしお学園おわせ分校、三重県立稲葉支援学校

＜平成29年度＞

放課後等デイサービスここいく員弁教室、(株)JSM ジョブステーションマツサカ、放課後等デイサービスひかり、三重県いなば園多機能事務所プリズム、放課後等デイサービスほし、津市児童発達支援センターつらぼっぼ、社会福祉法人あいプロジェクト、児童発達支援放課後等デイサービススクラム、鈴鹿市療育センター、三重県立豊学校、三重県立城山特別支援学校、三重県立特別支援学校東紀州くろしお学園、三重県立度会特別支援学校、三重県立杉の子特別支援学校、三重県立特別支援学校北勢きらら学園

＜平成30年度＞

こたつスマイルクラブ、放課後等デイサービスほし、あいプロジェクト、放課後等デイサービスささゆり、エンジョイキッズ、寺子屋オレンジキッズ、済生会明和病院なでしこ、城山特別支援学校、三重県立杉の子特別支援学校石薬師分校、三重県立特別支援学校西日野にじ学園、三重県立杉の子特別支援学校、三重県立稲葉特別支援学校、三重県立豊学校、松阪あゆみ特別支援学校

＜令和元年度＞

北勢きらら学園、津市児童発達センター、はび・ふれ、鈴鹿市療育センター、こごみのひろば、松阪あゆみ特別支援学校、生活介護虹いろ、第二放課後等デイサービスささゆり、放課後等デイサービスあい、三重県立豊学校、度会特別支援学校、放課後等デイサービスアルブル、放課後等デイサービスSeed、ティアラリノ、東紀州くろしお学園おわせ分校、特別支援学校玉城わかば学園

＜令和2年度＞

新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえ中止

みえ歯一トネット研修会過去講師一覧

| 開催年度 | 演題 | 講師（敬称略） | 参加者数 |
|----------|--------|--|-------|
| 平成 22 年度 | 設立記念 | 三重県立小児心療センターあすなろ学園 園長 西田寿美 | 127 名 |
| | 第 1 回 | 三重県立草の実りハビリテーションセンター所長 二井英二 | 120 名 |
| 平成 23 年度 | 第 2 回 | 松本歯科大学障害者歯科学講座准教授 松尾浩一郎 | 109 名 |
| | 第 3 回 | 社団法人長崎県歯科医師会 口腔保健センター 診療部長 長田 豊 | 74 名 |
| | 第 4 回 | 岡山大学病院小児歯科 講師 岡崎好秀 | 131 名 |
| 平成 25 年度 | 第 5 回 | ①芳賀デンタルクリニック 院長 芳賀 定 ②特別支援教育ネット代表 宇部フロンティアア大学臨床 教授 小栗正幸 | 129 名 |
| | 第 6 回 | ①すずき歯科クリニック 院長 鈴木 俊行 ②うめもところどもクリニック 院長 梅本正和 | 120 名 |
| 平成 27 年度 | 第 7 回 | ①朝日大学歯学部口腔病態医療学講座障害者歯科学分野 教授 玄 景華 ②三重県立小児心療センターあすなろ学園 園長 西田寿美 | 119 名 |
| | 第 8 回 | ①三重県健康福祉部障がい福祉課生活支援班 班長 田中 馨 ②三重大学医学部附属病院 小児トータルケアセンター センター長 岩本 彰太郎 | 65 名 |
| 平成 29 年度 | 第 9 回 | ①大阪発達総合療育センター 歯科医長 中村 由貴子 ②大阪発達総合療育センター 歯科衛生士長 米花 佳代子 | 130 名 |
| | 第 10 回 | ①愛知県心身障害者コロニー中央病院歯科 歯科医長 加藤 篤 ②愛知県心身障害者コロニー中央病院歯科 歯科衛生士 田中 恵 ③三重県立豊学校 養護教諭 山中 千聡 | 103 名 |

| | | | |
|-------|--------------------------|------------------------|----------|
| 開催年度 | 演題 | 講師（敬称略） | 参加者 数 |
| 令和元年度 | 第11回 障害者の歯科保健・治療と地域連携 | 梅花女子大学口腔保健学科 教授 森崎 市治郎 | 76名 |
| 令和2年度 | 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 | | |

みえ歯一トネット研修会参加状況

| 研修内容 | 歯科医師 | その他歯科 医療従事者 | 支援団体・ ボランティア団体 | 学校・幼稚 園・保育所関 係 | 介護・福祉・ 病院関係 | 市町・ その他 | 計 |
|-------------------------------------|------|----------------|-------------------|----------------------|----------------|------------|-----|
| 設立記念講演会 日時 平成22年2月11日(木・祝) | 60 | 15 | 17 | 16 | 4 | 15 | 127 |
| 第1回みえ歯一トネット研修会 日時 平成23年1月30日(日) | 30 | 33 | 10 | 18 | 9 | 20 | 120 |
| 第2回三重ハートネット研修会 日時 平成24年1月22日(日) | 46 | 41 | 2 | | 15 | 5 | 109 |
| 第3回みえ歯一トネット研修会 日時 平成24年2月19日(日) | 28 | 33 | 3 | 4 | | 6 | 74 |
| 第4回みえ歯一トネット研修会 日時 平成25年1月3日(土・祝) | 57 | 47 | 1 | 7 | 13 | 6 | 131 |
| 第5回みえ歯一トネット研修会 日時 平成26年1月26日(日) | 36 | 32 | 9 | 35 | 9 | 8 | 129 |
| 第6回みえ歯一トネット研修会 日時 平成27年2月22日(日) | 47 | 39 | 9 | 16 | 5 | 4 | 120 |
| 第7回みえ歯一トネット研修会 日時 平成28年2月21日(日) | 48 | 29 | 6 | 10 | 16 | 10 | 119 |
| 第8回みえ歯一トネット研修会 日時 平成29年2月9日(木) | 27 | 13 | 5 | 9 | 6 | 5 | 65 |
| 第9回みえ歯一トネット研修会 日時 平成30年2月8日(木) | 48 | 32 | 5 | 15 | 26 | 4 | 130 |
| 第10回みえ歯一トネット研修会 日時 平成31年2月28日(木) | 39 | 14 | 2 | 15 | 23 | 10 | 103 |

| 研 修 内 容 | 歯科医師 | その他歯科 医療従事者 | 支援団体・ ボランテイア団体 | 学校・幼稚 園・保育所関 係 | 介護・福祉・ 病院関係 | 市町・ その他 | 計 |
|------------------------------------|----------------------|----------------|-------------------|----------------------|----------------|------------|----|
| 第11回みえ歯一トネット研修会 日時 令和2年2月16日(日) | 42 | 13 | 2 | 8 | 7 | 4 | 76 |
| 令和2年度 | 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 | | | | | | |

みえ歯一トネット研修会 協力歯科医参加状況

| 研修会 | 受講者数 | | 協力歯科 医院数 |
|-----------------------|----------------------|----------|-------------|
| | 歯科医師 | (内)協力歯科医 | |
| 設立記念講演会 H21年度 | 60 | 32 | 120 |
| 第1回みえ歯一トネット研修会 H22年度 | 30 | 20 | 121 |
| 第2回みえ歯一トネット研修会 H23年度 | 43 | 18 | 125 |
| 第3回みえ歯一トネット研修会 H23年度 | 27 | 14 | 125 |
| 第4回みえ歯一トネット研修会 H24年度 | 48 | 24 | 125 |
| 第5回みえ歯一トネット研修会 H25年度 | 32 | 25 | 125 |
| 第6回みえ歯一トネット研修会 H26年度 | 43 | 23 | 125 |
| 第7回みえ歯一トネット研修会 H27年度 | 42 | 23 | 121 |
| 第8回みえ歯一トネット研修会 H28年度 | 27 | 16 | 120 |
| 第9回みえ歯一トネット研修会 H29年度 | 48 | 27 | 118 |
| 第10回みえ歯一トネット研修会 H30年度 | 39 | 16 | 113 |
| 第11回みえ歯一トネット研修会 R元年度 | 42 | 23 | 110 |
| 第12回みえ歯一トネット研修会 R2年度 | 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 | | |

(2) 第12回みえ歯-トネット研修会について

小児・AYAがんトータルケアセンター センター長 岩本 彰太郎 先生

所属（現在）：2021年度：三重大学，医学部附属病院，准教授

所属（過去）2019年度：三重大学，医学部附属病院，准教授

2017年度：三重大学，医学系研究科，講師

2016年度：三重大学，医学系研究科，助教

2015年度：三重大学，医学(系)研究科(研究院)，助教

2011年度 - 2014年度：三重大学，医学部附属病院，助教

2011年度：三重大学，医学研究科，助教

【小児・AYAがんトータルケアセンターの概要】

運営方針・運営体制

センターは、小児期の患者及び思春期・若年成人のがん患者（以下「AYAがん患者」という。）が適切でよりよい医療が受けられ、安全安心な社会生活が営めるように包括的な支援を行うとともに、地域医療機関及び県市町と密接な連携を図り、患者及びその家族、周囲の人間が満足できる適正で質の高い医療を提供する環境を作ることを目指します。地域で生活する医療的ケア及び緩和ケアを必要とする子どもと家族の、安全・安楽な生活を保障し、生活の質（QOL）の向上を目指した在宅医療を提供するとともに、地域連携の充実に努めます。

業務内容

小児患者及びAYAがん患者の診療，治療

小児患者及びAYAがん患者に対する治療後の継続的な身体・心理社会的支援

小児患者及びAYAがん患者における医療，教育，就学・就労，結婚，出産，

保健福祉及び心理等の相談

小児患者及びAYAがん患者に対する医療支援に関する情報の収集及び情報提供

小児患者及びAYAがん患者の家族など患者周囲への支援

小児患者及びAYAがん患者に対する社会資源の活用及び地域医療機関等との連携

小児患者及びAYAがん診療に関わる教育・啓発

院内における横断的な小児患者及びAYAがん患者の支援の実践と相談

小児患者及びAYAがん患者を支援する多職種・他機関との連携

在宅医療支援を必要とする小児患者と家族に対する訪問診療・訪問看護活動

地域機関との連携、情報交換による小児在宅医療支援システムの構築

県内の小児在宅を対象とする研修会の企画実施

県内の小児医療を支える診療所・訪問看護ステーションの拡大

各関連機関を対象とする教育・相談活動

三重病院口腔外科 松村 佳彦 先生

(歯科口腔外科医長) 医学博士、(公社) 日本口腔外科学会認定口腔外科専門医、
日本歯科放射線学会歯科X線準認定医

【正規学会会員】

日本口腔外科学会、日本口腔科学会、日本頭頸部癌学会、日本歯科麻酔学会
日本口腔診断学会、日本口腔腫瘍学会、日本口腔顎顔面外傷学会、日本顎関節学会
アジア口腔顎顔面学会

【三重病院歯科・口腔外科について】 三重病院ホームページより

障害児（者）の歯科診療や口腔外科を主に取り組んでおります。

また、糖尿病や脳梗塞などの基礎疾患を有する方の処置や、院内他科で全身麻酔を受け
る患者さんに対しての術前・術後の口腔ケアも積極的に行っています。

それぞれの患者さんに合った治療が行えるように、じっくりと話を聞いた上でより良
い治療方針を提案するよう心がけています。

平成26年度からより専門性の高い診療の提供を開始、一般歯科だけではなく、小児、
障害児（者）の歯科診療や口腔外科診療にも積極的に取り組みを行っております。

歯の治療だけではなく、口腔顎顔面外科領域に対象を広げ、さらに智歯や外傷、良悪
性腫瘍病変に加え、小手術や全身麻痺での手術まで対応することで、地域周辺医院から
の紹介患者の受け入れを行い、入院症例も積極的に行っております。

【対象分野】

- ・障害児（者）の口腔ケア、検診、処置
- ・智歯周囲炎（親知らずの難抜歯や埋伏歯の抜歯）
- ・顎関節症（顎の関節周囲の痛みや開口障害など）
- ・顎や口唇の外傷（歯の脱臼・破折、唇・頬などの裂傷、顎骨の骨折など）
- ・口腔内の腫瘍、のう胞（唇、顎、歯肉、頬、舌などにできるできものや膿の袋）
- ・粘膜の異常（発赤、腫脹、びらん、しこりなど）
- ・舌の異常（できもの、ピリピリ感、しびれ感、しこりなど）
- ・口腔ガン（舌や顎・歯肉などにできるガン）

東京都小児総合医療センター小児歯科 医長 小方 清和 先生
(たましょう歯ネット(多摩小児在宅歯科医療連携ネット)ホームページより)

代表挨拶

小児在宅患者のサポートは多職種との連携により成り立っています。一人の子どもに対し、医療だけでなく、教育の面や子どもたちが在宅で安心してすごせるような環境づくりなどのサポートも考えて支えていく必要があります。しかし、高齢者の医療とくらべ、小児在宅患者のサポート体制は十分でなく、多職種が連携しながら手作りで支えているのが現状です。そのような中で、小児在宅患者の歯科的サポートを依頼された場合、歯科医療サイドとして、受け皿が必ず必要になると考えるようになりました。

いま、歯科として小児在宅患者を受け入れる準備が必要な時期にきています。「多摩小児在宅歯科医療連携ネット」(以下たましょうしネット)は、地域歯科医師と基幹病院とが協力し、東京都多摩地区に住む在宅重症児に対する歯と口の健康を支援することを目的に、2015年1月に設立されました。活動の中心は多摩地区の20歯科医師会に所属する在宅歯科医療が可能な歯科医師と重症児歯科治療が可能な12施設です。「たましょうしネット」の役割は歯科医療連携の強化と連携システムを地域の歯科医師で共有することです。地域の歯科医院では口腔内診査やスクリーニングを行い、口腔内に疾患がないかを診査するのが主な役割とし、疾患があった場合、地域の後方支援病院の歯科に依頼し、治療を行います。治療後は地域の歯科医院に戻り、メンテナンスや予防に努めます。摂食嚥下障害が疑われた場合、後方支援病院にて嚥下機能等を診査・診断し、口腔ケアや摂食機能訓練を行っていくという連携ネットワークを考えています。

私は当初、在宅へ移行する前の入院中に、歯と口の健康管理方法をより多くのご家族に説明することが必要であると考えていました。しかし小児在宅医療にかかわる様々な方のお話を聞いて、考えを改めるようになりました。地域のかかりつけ歯科医師が、その家庭にあった方法を指導することが重要だということに気づきました。周りの生活環境に調和させることができるだけでなく、子どもの成長発達に応じた変更も可能だからです。地域の多くの方々と協力していきながら、それぞれの役割を最大限に生かし、ひとりでは不可能であった在宅重症児の歯科医療を可能にすることができると信じています。



多摩小児在宅歯科医療連携ネット

ご不明な点はメールにてお問合せください
Mail : info@tamashou-shika.com



はじめに 小児在宅歯科医療の支援システムについて

はじめに

近年、新生児集中治療管理室（NICU）等から退院し、重度の医療的ケアを要する小児等の在宅医療の推進が急速になされています。東京都多摩地区において、現在、小児科医を中心とした「東京療育ネットワーク」が立ち上がり、地域での多職種連携が広まりつつあります。しかし多くの障害児、有病児のほとんどが口腔ケアや摂食嚥下機能に関する医療を必要としているにも関わらず、歯科の支援に繋がっていません。その理由としては、保護者側からは、子どもに重度の障害や病気があるために、歯科的支援をどこに求めればよいかわからないこと、歯科医療側からは、どのようなニーズがあるのかが見えにくいこと、が考えられます。

我々は在宅小児歯科医療の「成功のカギ」は地域歯科医師会の先生方との連携であると考えています。例えば、連携の一例として、「歯科的支援が必要な子どものご家庭に近隣の地域歯科医院の先生が訪問して口腔管理を行い、必要に応じて専門医療機関につなげていただく。また子どもが成長後に外来受診できるようになれば、地域歯科医院がかかりつけ歯科医となりながら専門医療機関と連携して診ていく。」といったシステム構築が考えられます。このような連携を実現することができ、早期に歯科的支援を行うことで、多くの子どもたちが重度の歯科疾患に罹患せず、摂食嚥下機能の獲得を少しでも進めることが可能になると期待しています。

小児在宅歯科医療の支援システムについて

東京都多摩地域では、在宅で生活する障害児、有病児への歯科医療は十分ではありません。また、多摩地域に居住する障害を持つ子どもの人数、障害の種類や程度、どのくらいの子どもが歯科医療に繋がっているのか等、その実態は明らかになっていません。我々は、多摩地域に居住する障害児、有病児の口腔の健康を守るため、地域歯科医師と基幹病院との連携システムを構築し、これまで社会的な取り組みが不足していた小児在宅歯科医療を支援することを目的に、田村文誉歯科医師（小金井市・日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック）、小坂美樹歯科医師（武蔵村山市・東京小児療育病院歯科）、横山雄士歯科医師（国分寺市・横山歯科医院）、小方清和歯科医師（東京都立小児総合医療センター）の4名を中心に多摩地区の重症児歯科治療が可能な12施設と、20歯科医師会に所属の歯科医師の先生方に呼び掛けて2015年1月に「多摩小児在宅歯科医療連携ネット」（たましょう歯ネット）を立ち上げました。

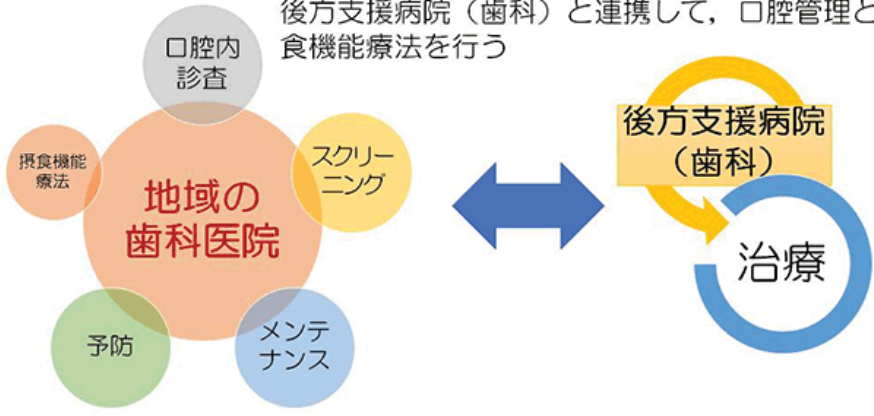
小児在宅歯科医療の支援システムについて

多摩地区には重症児歯科医療可能な施設が12施設、
歯科医師会は20地区にある。



たましよしネットが考える口腔内管理の支援システムと連携ネットワーク

患者自宅から近隣にある**歯科医院が主治医となり**、
後方支援病院（歯科）と連携して、口腔管理と摂食機能療法を行う



医療的ケアが必要な子どもに対し、医療だけでなく、教育の面や重症児が在宅で安心してすごせるような環境づくりなどのサポートも考えて支えていく必要があることを日常臨床の中から実感しました。小児の出生率は減少していますが、高度医療の進歩に伴い、医療的ケアが必要な子どもは年々増加しています。今後歯科として、小児在宅患者を受け入れる準備が必要な時期に来ており、小児在宅患者の歯科的サポートを依頼された場合、歯科医療サイドとして、受け皿が必ず必要になると考えています。まずは歯科医療連携の強化と小児在宅患者を受け入れるための意識の改革が必要です。**地域の歯科医院**では口腔内診査やスクリーニングを行い、口腔内に疾患がないかを診査するのが主な役割とし、疾患があった場合、**地域の後方支援病院の歯科に依頼し**、治療を行います。治療後は**地域の歯科医院**でメンテナンスや予防に努めます。摂食嚥下障害が疑われた場合、**後方支援病院にて嚥下機能等を診査・診断し**、口腔ケアや摂食機能訓練を行っていくという連携ネットワークを考えています。重症児の診療、特に治療は極めて困難で、歯石除去であっても誤燕につながることも危惧され、医療事故を起こさないためにも医科との連携が十分にとれる後方支援病院で治療を行うことが望ましいと考えています。この「たましよしネット」を基盤とし、小児在宅歯科医療活動の効率化のため、4部会（研修会企画部会、アンケート部会、マップ・ホームページ部会、アセスメント部会）に分け、活動しています（図3）。